



## 獨立成協可不 三エララ

羊頭掲げて狗肉を賣る  
英佛ソ聯の毒牙を脱す

（ペルリン七日同盟）ドイツとラトヴィア、エストニア兩國間の不可侵略協定は確定

通り七日前に正式に調印した。今回成立の二協定は先のドイツ・デンマークの不侵略協定に範をとつたものでその内容は次の通り。

一、締約國は相互に武力又は義務を負ふ。

他の方はその第三國より武力又はその方法によるも契約し、但し右の場合外に立つ締約

國の方が前記第三國との間に通商關係を維持し貨物の通運を行ふことは何らその中立義務

に抵觸するものにあらず。

一、本協定はトキ年間有効。

（ペルリンの演説並に英佛共同提案に對するノルマの回答によつて）

三國政府の回答によつて、了解に難くない。最近英佛

ノルマの要望するところは何よ。

兩國がソ聯の考慮に添はん

るもので頭を掲げて狗肉を

賣るもので、さればエスト

ニアの不可侵略協定は

トビアス・エストニア、ラソ聯の要望するところは何よ。

兩國がソ聯の考慮に添はん

るものを自らの間の消息を

通じて、ラトヴィアの例にならひ

ヤー、ベオバハッターニー紙はセ

日その社説で今回の協定成立

の意義を論じ左の如く述べて

ある。モロトフソ聯人民委員

ストニヤの不承諾就中ラガ

換に真に平和を愛好するこれ

を用意、他のあるラトヴィアエ

ストニヤの不承諾就中ラガ



